科目名	80. 生活を支えるための援助				
履修年次	2年次	科目区分	専門分野	単位数 (時間)	1単位 (30時間)
ディプロマポリシー(DP)	□ 人を大切にするこころ ☑ 現象を適切に把握し地域で生活する人を支える看護実践力 □ チームの中で連携・協働するための力 □ 専門職業人として自己研鑽する力				
科目目標	重症心身障害児・者に対し看護実践するための技術について理解することができる				
到達目標	重症心身障害児・者の生活を支援するために必要な看護について表現することができる				
評価方法	筆記試験（100点）				
使用 テキスト	系統看護学講座　専門分野Ⅰ　臨床看護総論　基礎看護学④　医学書院 重症心身障害/医療的ケア児者診療・看護実践マニュアル　診断と治療社 新版　重症心身障害療育マニュアル　医歯薬出版株式会社				
参考文献	ケアの基本がわかる重症心身障害児の看護　へるす出版 写真でわかる重症心身障害（者）のケアアドバンス　インターメディカ 重症心身障害児のトータルケア　新しい発達支援の方向性を求めて　へるす出版 重症心身障害児者の療育＆日中活動マニュアル　日総研				
教育方法と学生への期待 (求めること)	重症心身障害児・者は、意思の疎通が難しい方が多くいます。そのため、非言語的コミュニケーションを大切にしながら、利用者に必要な看護技術を根拠に基づいて安全・安楽に実施できるように練習を重ねて、習得してほしいと考えています。 実際の臨床現場の看護師が講師となる回も多く、現場の看護師の語りの中から多くのことを学んでください。				

回	学習項目	学習内容	授業方法
1	重症心身障害児・者の観察 姿勢を整えるためのケア	1）バイタルサインのチェックと観察の留意点 2）姿勢を整えるためのケア （1）筋緊張緩和 （2）呼吸を楽にする姿勢 （3）発達を促す姿勢	講義
2	呼吸を整えるためのケア	1）重症心身障害児の呼吸の特徴と症状 2）呼吸を整えるためのケア	講義
3	医療機器の管理演習	心電図モニター、酸素ボンベ操作・管理	講義
4	医療機器の管理演習	人工呼吸器等の操作・管理	講義

5	てんかんをもつ人のケア	１）発作の種類 ２）発作時の観察 ３）発作時の対応	講義
6	排尿を安定させるためのケア	１）排尿にかかわる処置 排尿にかかわる観察のポイント 排尿介助時の注意点 導尿・膀胱留置カテーテル挿入・管理	講義
7	排尿を安定させるためのケア演習	膀胱留置カテーテル挿入・管理	演習 （実習室）
8	栄養を整えるためのケア	１）摂食嚥下機能と消化吸収機能、重症心身障害児の特徴となる症状と障害 誤嚥・嘔吐 ２）栄養摂取を整えるための処置 経腸栄養法（経鼻胃管・経鼻経腸管・胃瘻） ３）食事支援の実際	講義
9	栄養を整えるためのケア	経管栄養法による流動食の注入 経鼻胃チューブの挿入	演習 （実習室）
10	排便を安定させるためのケア	１）排便にかかわる処置 排便にかかわる観察のポイント 便秘・下痢・イレウス	講義
11	睡眠を整えるためのケア 清潔を整えるためのケア	１）重症心身障害児の睡眠障害の特徴 ２）睡眠を整えるためのケア ３）清潔を整えるためのケア 清潔維持・衣類の着脱・骨折予防	講義
12	医療機器の管理演習	心電図モニター、酸素ボンベ、人工呼吸器等の操作・管理	演習 (実習室)
13	医療機器の管理演習	心電図モニター、酸素ボンベ、人工呼吸器等の操作・管理	演習 (実習室)
14	事例演習	呼吸状態が不安定な人の対応 安楽な体位の調整 安楽の促進・苦痛の緩和のためのケア ネブライザーを用いた気道内加湿	講義 演習 (実習室)
15	まとめ	生活を支えるための援助　まとめ	講義